

○事業所名	いずみ園		
○保護者評価実施期間	2025/09/22		2025/11/03
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025/09/22		2025/11/03
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	34 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025/12/14		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・指導員みんな子どもが大好きで、温かく受け入れ支援する体制が整っている。	・日ごろから法人や事業所の想いを指導員の方にお伝えしている。「今日もいずみ園にきてよかった」「いずみ園楽しかった」と思ってもらえるような支援を基盤としている。 ・職員間で密にコミュニケーションを取り、孤立化せず、職員全体で子どもたちを受け入れる体制を心掛けている。	・引き続き職員間でコミュニケーションを取り、子どもたちの成長に向けてみんなで考えていく体制を整え、維持していく。
2	・利用者一人に指導員が一人つく1:1での支援を基本としている。	・1:1の支援を基本としている。人との関わりを大切にし、1:1で指導員と関わることでコミュニケーションの取り方を学んだり、様々な活動に挑戦してみようと思えるような環境を設定したり、子どもたちの活動の幅を広げられるように支援している。	・1:1で関わる中で、年齢に合わせた声掛けや支援を工夫していく。 ・声掛けの量や、距離感など、今以上に考えていく必要がある。 ・また、1:1の支援となるので、ベテラン職員が新しい職員にもとんとん支援の技術を伝えていき、一人ひとりのスキルを磨いていけるようにしていく。 ・指導員の支援の質を高められるような研修の実施や、日々常勤職員も伝えていくことを意識していく。
3	・静と動の活動をバランスよく取り入れることで、プログラムに集中できるような工夫をしている。	・お子さまの成功体験を重ねていけるように、クラスごとに課題遊びやチャレンジの内容を考えて活動している。	・職員間で意見を出し合い、チャレンジや課題遊びなどの充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・工夫してスペースを確保しているが、広さに余裕がない日もある。	・クラスが4クラスから3クラスとなったことや、1日の利用人数も増えていることが要因。	・安全に留意しながら活動していく。
2	・1:1の支援を基本としているが、指導員のお休みなどで難しい日もある。	・指導員不足。	・求人募集を行い、指導員を増やしていく。 ・引き続き法人内の他事業所と連携を図っていく。
3	・地域の方や、近隣の幼稚園、保育所、小学校と関わる機会がない。	・積極的にこちらから声を掛け、働きかけていかなければ中々関わる機会がない。	・併用先の幼稚園や保育所との関わりはあるので、こちらから提案していく。 ・地域の方に積極的に挨拶をしたり声を掛けたりしていく。